

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2019年10月分)

2019年11月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

- [新政権未発足のまま、昨年の総選挙実施から1年が経過\(7日\)](#)
- [2019年ノーベル文学賞、BH国内で政治論争化\(10、15日\)](#)
- [閣僚評議会、欧州委員会の報告書\(本年5月\)に基づく改革プランを決定\(16日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

- [両エンティティ政府、EU基準の達成に向けた改革プランを策定\(10日\)](#)
- [欧州人権裁判所、モスタル市の選挙未実施問題で判決\(29日\)](#)

イ. スルプスカ共和国(RS)

- [ドディック大統領評議会メンバー、RS国民議会の臨時招集の方針を発言\(14日\)](#)
- [セルビア系要人とメドベージェフ露首相との会談\(19日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

- [BH政府要人、西バルカン「ミニ・シェンゲン」構想への参加に関心\(10、24、29日\)](#)
- [大統領評議会3メンバーとモゲリーニEU上級代表らとの会談\(29日\)](#)

(2) 二国間関係

- [BH・トルコ・セルビア3か国首脳会談の実施\(8日\)](#)

(3) 日・BH関係

- [コムシッチ大統領評議会議長夫妻の即位の礼出席\(21～24日\)](#)
- [中小企業ノン・プロジェクト無償資金協力に基づく気象水利観測機器の供与\(22日\)](#)
- [南武道「日本のスポーツと文化のタベ」の開催\(26日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標

(2) 経済政策・公共事業

- [BH中央銀行、2019年上半期の対BH直接投資額の速報値を発表\(3日\)](#)
- [世銀、2019年のBH経済成長率の予測値を発表\(9日\)](#)
- [IMF、2020年のBH経済成長率の予測値を下方修正\(17日\)](#)

(注: 以下は、当地紙報道などの公開情報をとりまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●閣僚評議会、2019年第4四半期の暫定予算を承認(3日)

閣僚評議会は、2019年第4四半期(10月～12月)の暫定予算を承認した。

●新政権未発足のまま、昨年総選挙実施から1年が経過(7日)

国、BH連邦、2カントン(ヘルツェゴビナ＝ネレトバ・カントンおよびカントン10)において新政権が未発足のまま、昨年総選挙実施から1年が経過。国レベルの連立協議に関しては、BHのNATO加盟行動計画(MAP)の開始に向けたNATOへの年次国家計画(ANP)の提出問題をめぐり、SDA(ボシュニャク系与党)とSNSD(セルビア系与党)の間の意見の隔たりが埋まっておらず、依然として新政権発足の見通しは立っていない。

●2019年ノーベル文学賞、BH国内で政治論争化(10、15日)

10日、スウェーデン・アカデミーが本年のノーベル文学賞をペーター・ハントケ氏(奥)に授与する旨を発表した後、BH国内では、その是非をめぐる議論が政治論争に発展。15日、コムシッチ大統領評議会議長(元首、クロアチア系)は、同氏が過去にスレブレニツァ・ジェノサイドを否定する発言を行ったとして、同アカデミーに対して授与取り消しを求める書簡を送付。一方でドディック同セルビア系メンバーは、ハントケ氏の同賞受賞に祝意を述べた。

●閣僚評議会、欧州委員会の報告書(本年5月)に基づく改革プランを策定(16日)

閣僚評議会は、欧州委員会が本年5月の

意見書と併せて発表したBHのEU基準達成度に関する詳細な報告書に基づき、729項目にわたる改革の実施プランを策定。729項目の改革実施主体の内訳は、国331項目、BH連邦204項目、RS205項目、ブルチュコ特別区118項目、BH連邦下の各カントン132項目などとなっている。

●セルビア系野党、SNSDに代わり新政権入りを目指す方針を確認(16日)

セルビア系野党第一、第二党のセルビア民主党(SDS)および民主進歩党(PDP)は党首会談を実施。シャロビッチSDS党首およびボレノビッチPDP党首は、セルビア系与党のSNSD主導の連立協議が停滞する中、同党に代わって新政権入りを目指す方針を確認した。これに対してドディックSNSD党首は、同党抜きの連立構想は「危険な冒険」と述べ、SDSおよびPDPの動きを牽制した。

●セルビア系・クロアチア系与党党首、スロバキア外相と会談(27日)

ドディックSNSD党首およびチョービッチHDZ(クロアチア系与党)党首は、スロバキアのブラチスラバにおいて同国のライチャーク外相と会談を行い、連立協議の動向などに関して意見を交換。なお同会談にボシュニャク系政党関係者が出席しなかったことに関して、イゼトベゴビッチSDA党首は、会談への出席の招待を受けていないと述べ、同人抜きの3者会談実施を批判した。

●チョービッチ新BH議会上院議長が就任(28日)

チョービッチ新BH議会上院議長(クロアチア系、HDZ党首)が、イゼトベゴビッチ前議長

(ボシュニャク系、SDA党首)に代わり就任。BH議会上下両院の議長職は8か月ごとの輪番制であり、チョービッチ新議長の任期は2020年6月27日まで。

(2)エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●両エンティティ政府、EU基準の達成に向けた改革プランを決定(10日)

BH連邦およびスルプスカ共和国の両エンティティ政府は、EU基準の達成に向け、2019年から2022年を実施期間とする両エンティティの社会経済改革プランを決定。今後、両エンティティ政府は同プランに基づき、公営企業の民営化を進めるほか、投資拡大に向けた各種施策を行っていく方針。

●ビハチ市、難民収容施設への水道供給などを停止(21日)

BH北西部に位置するビハチ市(ウナ・サナ・カントン)は、財源不足を理由として、同市にあるブチャク難民収容施設への水道供給等を停止した旨発表。同施設をめぐるのは、これまでUNHCRおよびEUが、施設環境の劣悪さから早期の閉鎖および代替施設の建設をBH連邦政府に対して求めていたが、代替地は依然として未定。2018年以降難民流入が集中した結果、現在同市には収容能力を大幅に超える約6,000人の難民が滞在していると見られる。

●欧州人権裁判所、モスタル市の選挙未実施問題で判決(29日)

欧州人権裁判所(仏・ストラスブール)は、モスタル市における11年に渡る選挙未実施問題は欧州人権条約が禁止する一般的差別に

当たるとして、バライラ・我々の党(NS)モスタル市支部長がBH政府を提訴していた裁判に関して、BH政府の責任を認める判決を下した。そのうえで同裁判所は、BH政府に対して、選挙未実施の背景となっている選挙法を判決確定後6か月以内に改正することを命じた。

イ. スルプスカ共和国(RS)

●RS連立与党第二党のDNS、SNSDとの連立関係の停止を発表(5、24日)

5日、RS連立与党第二党の民主人民同盟(DNS)は、与党第一党SNSDが同党との間で交わした連立関係に関する覚書に違反したとして、SNSDおよび連立与党第三党のRS社会党との連立関係を停止する旨発表。一方で、24日にはDNSとSNSDが同問題をめぐり第一回政党間協議を開催したものの、DNSの連立離脱の結論には至っていない。両党は同問題に関して協議を継続する見通し。

●ドディック大統領評議会メンバー、RS国民議会の臨時招集の方針を発言(14日)

ドディック大統領評議会セルビア系メンバーは、セルビアの日刊紙「ポリティカ」のインタビューにおいて、9月のSDA党大会宣言および過去の上級代表によるボン・パワーの行使を議題として、スルプスカ共和国国民議会の臨時会合を招集する方針を発言。ドディック・メンバーはまた、同会合では、過去に上級代表が実行した改革の正当性を否定する旨の決議が採択されるとの見通しを示した。

●セルビア系要人とメドベージェフ露首相との会談(19日)

ドディック大統領評議会セルビア系メンバーおよびツビヤノビッチ・スルプスカ共和国(RS)

大統領は、ベオグラードにおいてメドベージェフ露首相との会談を実施。ドディック・メンバーは、11月5日に予定されているインツコ上級代表による定例の国連安保理報告を批判するとともに、メドベージェフ首相に対して、ロシア政府がRSとともに同報告の実施に反対する立場を採ることを要請した。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●大統領評議会2メンバーとディエン国連ジェノサイド予防担当特別顧問との会談(7日)

コムシッチ大統領評議会議長およびジャフェロビッチ同ボシュニャク系メンバーは、BHを訪問中のディエン国連ジェノサイド予防担当特別顧問との間で会談を行い、BHにおける民族間の和解実現に向けた今後の方針を話し合った。

●BH政府要人、西バルカン「ミニ・シェンゲン」構想への参加に関心(10, 24, 29日)

10日、アルバニア、北マケドニア、セルビアの3か国首脳は、西バルカン地域諸国間のヒト・モノ・資本の移動に対する障壁撤廃を目指す「ミニ・シェンゲン」構想を協議。これに関して24日、シャロビッチBH対外貿易・経済関係相は、同構想へのBH参加を求める提案書を閣僚評議会に提出。また29日には、ジャフェロビッチ大統領評議会ボシュニャク系メンバーが、EUによる支持があることを条件に、BHも同構想へ参加すべきである旨発言した。

●ドディック大統領評議会メンバー、非同盟諸国首脳会議に出席(24日)

第18回非同盟諸国首脳会議がアゼルバイ

ジャンの首都バクーにおいて開催され、BHからはドディック大統領評議会セルビア系メンバーが出席。同期間中、ドディック・メンバーは同国のアリエフ大統領との間で会談を行い、BH・アゼルバイジャン間の経済関係強化などを話し合った。

●大統領評議会3メンバーとモゲリーニEU上級代表らとの会談(29日)

大統領評議会3メンバーは、ブリュッセルにおいて、モゲリーニEU外務・安全保障政策上級代表およびハーン欧州委員会近隣・拡大政策担当委員との会談を実施。席上、コムシッチ大統領評議会議長は、欧州理事会が先般北マケドニアおよびアルバニアとのEU加盟交渉開始決定を延期したことに関して、同決定はBHにとっても残念な決定であるとする一方で、BHが引き続きEU加盟を目指していく旨述べた。

(2) 二国間関係

●BH・トルコ・セルビア3か国首脳会談の実施(8日)

BH・トルコ・セルビア3か国首脳会談がベオグラードで開催され、BHからはコムシッチ大統領評議会議長、ジャフェロビッチ同ボシュニャク系メンバー、ドディック同セルビア系メンバーが出席。3か国首脳は、西バルカン地域の連結性向上などに関して協議を行った。また同日には、サラエボ・ベオグラード間高速道路の建設作業がセルビア側で開始されたことを記念する起工式展も行われた。

●BH・オーストリア首脳会談(10日)

コムシッチ大統領評議会議長は、オーストリアのウィーンにおいて、同国のファン・デア・ベ

ーレン大統領との会談を行い、BH・唄の政治・経済関係の強化について話し合った。なお、オーストリアはBHにとって最大の投資国であるとともに、同国には20万人を超えるBH国籍保有者が在住している。

●ズビズディッチ首相とパルマー米国務次官補代理との会談(22日)

ズビズディッチ閣僚評議会議長(首相、ポシュニャク系)は、ワシントンにおいて、パルマー米国務次官補代理兼西バルカン担当特使およびコーマック米国務次官補代理(前駐BH米国大使)との会談を行い、BHの欧州大西洋統合の見通しなどに関して協議を実施。パルマー次官補代理は、会談の中で、BHの政治的安定は西バルカン地域の安定の鍵である旨述べた。

●パルマー米国務次官補代理、ドディック大統領評議会メンバーを批判(24日)

パルマー米国務次官補代理兼西バルカン担当特使は、米国議会上院の外交委員会において、ドディック大統領評議会セルビア系メンバーをBHの改革前進に向けた妨げになっていると名指しで非難。これに対してドディック・メンバーは、パルマー次官補代理は問題の本質から意図的に目を逸らしていると批判し、同人に対する非難への不快感を示した。

(3)日・BH関係

●コムシッチ大統領評議会議長夫妻の即位の礼出席(21～24日)

コムシッチ大統領評議会議長(元首、クロアチア系)は、日本政府の招待により訪日し、22・23日に催行された新天皇陛下の即位の

礼関連行事(正殿の儀及び饗宴の儀並びに安倍総理夫妻主催晩餐会)に出席。コムシッチ議長はまた、日本の対BH友好議員連盟との会合に出席し、日・BH関係の更なる発展に向けて意見交換を行った。

●中小企業ノン・プロジェクト無償資金協力に基づく気象水利観測機器の供与(22日)

平成25・26年度「日本中小企業製品供与ノン・プロジェクト無償資金協力」による気象水利観測機器の引渡式が、BH連邦水利気象研究所で開催され、坂本秀之日本大使およびオスマノビッチBH民生大臣が出席。オスマノビッチ大臣は、今回の支援は農業をはじめとする各産業分野における気象データの有効利用につながると述べ、日本政府の支援に対する謝意を述べた。



(写真:坂本大使とオスマノビッチ大臣)

●南武道「日本のスポーツと文化のタベ」の開催(26日)

「日本のスポーツと文化のタベ」と題した日本文化紹介イベントが、バニャ・ルカ市(RS)南武道センターの主催により催行。同イベントは毎年バニャ・ルカ市で開催されており、今回で14回目。イベントでは、南武道の実演が行

われたほか、日本政府奨学金(MEXT)の元日本留学生らが日本の歌と踊りのパフォーマンスを披露した。



(写真:南武道実演の様子)

3. 経済

(1)経済指標(BH統計庁)

●GDP

2019年4～6月期のBHのGDPは、前年同期比で2.6%のプラス成長。

●産業生産指数

2019年9月の産業生産指数は、季節調整後の数値で前月比1.4%のプラス、前年同月比では7.4%のマイナス。

●貿易収支

2019年1～9月期の輸出額は、前年同期(2018年1～9月)比で2%のマイナスで86億6,300万KM(約43億3,150万ユーロ)、輸入額は前年同期比で1.9%のプラスで146億2,300万KM(73億1,150万ユーロ)。輸出額から輸入額を引いた貿易収支は59億6,000万KM(29億8,000万ユーロ)の赤字。輸出・輸入額の上位5か国は以下の通り。

BHからの輸出	BHへの輸入
---------	--------

①ドイツ	①ドイツ
②クロアチア	②イタリア
③イタリア	③セルビア
④セルビア	④クロアチア
⑤スロベニア	⑤中国

●雇用／失業率

2019年8月の失業者数は40万6,848人。2017年の同月を基準値(100)とする前年同月(2018年8月)比で8.6%,実数にして4万1,730人の減少で改善傾向。

●平均給与

2019年8月の平均給与(手取り)は925KM(約462.5ユーロ)で、前年同月比で4.2%のプラス。

●消費者物価指数

2019年9月の消費者物価指数は前月比で0.5%のマイナス。

●観光客数

2019年9月にBHを訪れた観光客数は16万9,725人で、前年(2018年)同月比で8.5%のプラス。

(2)経済政策・公共事業

●BH中央銀行、2019年上半期の対BH直接投資額の速報値を発表(3日)

BH中央銀行は、2019年上半期の対BH直接投資額が、速報値で前年(2018年)同期比53.6%プラスの6億5,010万KM(約3億2,505万ユーロ)を記録したと発表。これに関して、ミリニッチBH外国投資促進庁(FIPA)長官は、今年は過去10年間で最多の投資額を記録した昨年をも大きく上回る規模の投

資が行われていると述べ、下半期の更なる投資拡大への期待感を示した。

●世銀、2019年のBH経済成長率の予測値を発表(9日)

世界銀行は、2019年のBHの経済成長率に関して、前年(2018年)比で0.5%マイナスとなる3.1%のプラス成長とする予測値を公表。世銀は同報告のなかで、2018年からの成長率鈍化の要因は、世界各地域の貿易摩擦を背景とするBHの輸出減少であるとの見方を示している。

●BH・クロアチア国境を結ぶ橋の建設工事開始(11日)

BH北部グラディシュカ市(スルプスカ共和国(RS))近郊において、BHとクロアチアとの国境を流れるサバ川上に架かる橋の建設工事が開始。同橋が開通すれば、既に建設が完了しているバニャ・ルカ市(RS)とグラディシュカ市を結ぶ高速道路のクロアチア側への連結性が向上するとともに、BHから他のEU諸国への交通アクセスも改善される見込み。

●IMF、2020年のBH経済成長率の予測値を下方修正(17日)

国際通貨基金(IMF)は、2020年のBHの経済成長率を、これまでに同機関が公表していた3.2%のプラス成長から、2.6%のプラス成長に下方修正した。一方でIMFは、併せて、同成長率は2021年以降に改善傾向に転じ、2024年にかけて再び3%まで回復するとの見通しを示した。なお、IMFによる今回の予測値の下方修正の背景には、新政権発足に向けた連立協議の停滞が、BH経済における懸念材料になっていることがあると見られてい

る。